

施策評価シート(平成30年度)

(基本施策の大綱) 3. 交通拠点性を生かした都市活力の向上

(基本施策) (2) 地域に根ざした商工業の活性化

(評価担当者)

産業建設部長 大澤 哲也

基本施策が目指す姿

市内事業者が、地域に根ざし活発な経営を行っています。

関連する分野別計画

成果指標

| | 単位 | 現状値 | | 実績値 | | | | | 目標値 | |
|---|-------------------------|-----|---|-----|-----|----|----|----|-----|----|
| | | | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | | |
| 1 | 都市拠点における空き店舗活用件数 | 件 | - | H27 | 0 | 3 | | | | 5 |
| 2 | カメヤマ創業アシストのサポートを受けた創業件数 | 件 | - | H27 | 5 | 8 | | | | 30 |
| 3 | | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | | | | |

市民アンケート調査

| 項目 | | 現状値 [H27] | 1次 [H30] | 2次 [R2] | 市民アンケートの考察 |
|----|--------------------|-----------|----------|---------|--|
| 1 | 日常の買い物がしやすい | 重要度 | 1.37 | 1.31 | 日常の買い物しやすさは、特に重要度が高い。満足度は前回より上昇しており、スーパーやドラッグストア等の新規開店によるものと考えられる。 外食店等の充実、重要度は低いものの、満足度は特に低く、満足度向上につながる施策を展開する必要がある。 |
| | | 満足度 | 0.02 | 0.13 | |
| 2 | 外食や宴会等を行う場所が充実している | 重要度 | 0.72 | 0.74 | |
| | | 満足度 | 1.04 | 1.07 | |
| 3 | | 重要度 | | | |
| | | 満足度 | | | |
| 4 | | 重要度 | | | |
| | | 満足度 | | | |
| 5 | | 重要度 | | | |
| | | 満足度 | | | |

総合評価

| 総合判定 | 左記の総合判定とした理由 |
|-----------------------|---|
| B まずまず進んでいる | 空き店舗等活用支援補助金を活用した創業が3件あり、にぎわいのある商業地域の形成は、順調に推進できており、個別判定をAとしている。商工会議所や商業団体など多様な主体による一体的な取り組みの促進、創業資金利子補給など市内事業者の経営力の向上、創業セミナーなど新たなビジネスの創出については、それぞれ、まずまず推進できており、個別判定をBとしている。また、基本施策に設定する成果指標においても実績が出ており、基本施策が目指す姿にまずまず近づけることができていると考えられ、総合判定をBとした。 |

反省点・課題

本市の発展の中心的な役割を担う市街地の活性化を図るため、空き店舗等の解消による商業の活性化及びにぎわいの創出が必要であり、若い世代の地方志向や女性活躍に対する機運が高まるなか、こうした層が活躍できる環境づくりを進めるため、若者・女性の創業等についての支援の充実をさらに検討する必要がある。また、飲食については、市民アンケートでの満足度が特に低いことから、新たな創業を誘導する必要がある。

今後の展開方針

若者・女性の創業等への積極的支援として、亀山市空き店舗等活用支援事業補助金制度(対象経費の2分の1、上限額100万円)について、創業者が若者・女性である場合に限り、補助金上限額をこれまでの1.5倍となる上限額150万円と拡充し、若者・女性の創業意欲の増進と自己費用負担の軽減を図る。また、創業セミナー、創業融資にかかる資金繰り支援を継続実施していく。

(施策の方向に関する評価)

| 施策の方向 | | にぎわいのある商業地域の形成 | | | | | |
|----------|-------|---|--|--|---------------|----|----|
| (個別判定) | | 【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】 | | 【左記の活動により、施策は推進できているか】 | | | |
| A | 活動 | 【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】 | | 【左記の活動により、施策は推進できているか】 | | | |
| | | <p>「亀山市立地適正化計画における都市機能誘導区域内にある空き店舗や空き家等を改装して開業をする事業者に対し、新たに平成30年度から店舗改装費用の一部(対象経費の2分の1、上限額100万円)を補助する空き店舗等活用支援補助金制度を創設した。また、商工会議所等と連携し、創業支援に係る情報発信を積極的に行った。</p> | | <p>空き店舗等活用支援補助金を活用した創業は3件あり、創業者の負担軽減と経営の安定を図り、まちの魅力を向上させるにぎわいのある商業地域の形成に努めることができた。</p> | | | |
| 順調に進んでいる | | | | | | | |
| 関連事業 | 番号 | 事務事業の名称 | | 区分 | 予算額/決算額 [千円] | 活動 | 成果 |
| | 17062 | 創業等支援事業 | | 主 | 4,184 / 3,913 | A | B |
| | | | | | / | | |
| 事業以外の取組 | | 内容 | | | | 活動 | 成果 |
| | | | | | | | |

| 施策の方向 | | 多様な主体による一体的な取り組みの促進 | | | | | |
|----------|-------|--|--|--|-----------------|----|----|
| (個別判定) | | 【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】 | | 【左記の活動により、施策は推進できているか】 | | | |
| B | 活動 | 【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】 | | 【左記の活動により、施策は推進できているか】 | | | |
| | | <p>「亀山まちゼミ」や、「亀山市」(亀山市商業団体連合会主催)を支援し、商業団体の連携強化に努めた。また、地域企業の魅力を発信し、中学生職場体験事業につながる小学生のキャリア教育を推進する「カメジョブキッズ2018」(主催:亀山商工会議所)開催を支援し、商工業の活性化に取り組んだ。</p> | | <p>商業団体の組織力や団体間の連携強化を支援するとともに地域企業の魅力発信につながった。また、事業者、商工会議所、行政が一体となり、「カメジョブキッズ2018」を開催し、市内事業者による22種の職業体験プログラムが実施された。</p> | | | |
| まずは進んでいる | | | | | | | |
| 関連事業 | 番号 | 事務事業の名称 | | 区分 | 予算額/決算額 [千円] | 活動 | 成果 |
| | 18002 | 地域企業魅力発信・子どもの職業体験支援事業 | | 主 | 1,200 / 1,200 | A | A |
| | 7007 | 団体支援事業(商工業振興事業) | | 標 | 12,820 / 12,570 | B | B |
| | | | | | | | |
| 事業以外の取組 | | 内容 | | | | 活動 | 成果 |
| | | | | | | | |

| 施策の方向 | | 市内事業者の経営力の向上 | | | | | |
|----------|-------|--|--|---|---------------|----|----|
| (個別判定) | | 【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】 | | 【左記の活動により、施策は推進できているか】 | | | |
| B | 活動 | 【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】 | | 【左記の活動により、施策は推進できているか】 | | | |
| | | <p>市内での創業者に対し、創業資金融資にかかる保証料及び利子の一部を補給することにより、スタート段階における創業者の負担軽減と経営の安定を図った。</p> | | <p>小規模事業者に対する利子補給制度、保証料補給制度、創業資金利子補給制度等の資金繰り支援を実施することで、市内事業者の新たな事業展開や経営安定化につながっている。</p> | | | |
| まずは進んでいる | | | | | | | |
| 関連事業 | 番号 | 事務事業の名称 | | 区分 | 予算額/決算額 [千円] | 活動 | 成果 |
| | 17062 | 創業等支援事業 | | 主 | 4,184 / 3,913 | A | B |
| | | | | | / | | |
| 事業以外の取組 | | 内容 | | | | 活動 | 成果 |
| | | | | | | | |

| 施策の方向 | | 新たなビジネスの創出 | | | | | |
|----------|-------|--|--|---|---------------|----|----|
| (個別判定) | | 【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】 | | 【左記の活動により、施策は推進できているか】 | | | |
| B | 活動 | 【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】 | | 【左記の活動により、施策は推進できているか】 | | | |
| | | <p>市内での創業予定者や創業後間もない事業者を対象に、専門家を講師とした創業セミナーや個別相談会を開催した。また、平成30年度から新たに空き店舗等活用支援補助金制度を創設し、市内での創業を支援した。</p> | | <p>平成25年度から創業セミナーを毎年度開催しており、平成30年度末の累計受講者数は89名となった。平成30年度の受講者11名は、当該年度中の創業にまでは至らなかったが、創業に関してのスキルを習得したことで、今後の創業が期待できる。</p> | | | |
| まずは進んでいる | | | | | | | |
| 関連事業 | 番号 | 事務事業の名称 | | 区分 | 予算額/決算額 [千円] | 活動 | 成果 |
| | 17062 | 創業等支援事業 | | 主 | 4,184 / 3,913 | A | B |
| | 7006 | 一般事業(商工業振興事業) | | 標 | 9,670 / 6,224 | B | B |
| | | | | | | | |
| 事業以外の取組 | | 内容 | | | | 活動 | 成果 |
| | | | | | | | |